

食品中のカドミウム国際基準値検討結果



4月24～28日にオランダ(ハーグ)で開催された第38回コーデックス委員会食品添加物・汚染物質部会において、食品中のカドミウムの国際基準値案が議論されました。日本からは、厚生労働省及び農林水産省等が出席しました。

検討の結果、カドミウムの国際基準値について(1)精米は、現行案(0.4 mg/kg)を国際基準値として最終採決すること、(2)海産二枚貝(カキ及びホタテガイを除く)及び頭足類(内臓を除去したもの)は、現行案(1.0 mg/kg)を2 mg/kgに修正した上で国際基準値として最終採決することを、コーデックス委員会総会(7月ジュネーブで開催予定)に諮ることが合意されました。

厚生労働省及び農林水産省は今後も引き続き、国際基準を巡る議論に積極的に関与していくこととしています。国内的には、食品安全委員会においてリスク評価を行うとともに、両省は必要なリスク管理のあり方について検討していくこととしています。

(参考)既にコーデックス委員会で採択されたカドミウムの国際基準値

食品群	基準値 (mg/kg)	備考
穀類(そばを除く)	0.1	小麦、米を除く ふすま、麦芽を除く
小麦	0.2	
根菜、茎菜	0.1	セロリアック、ばれいしょを除く
ばれいしょ	0.1	皮を剥いたもの
豆類	0.1	大豆(乾燥したもの)除く
葉菜	0.2	
その他の野菜 (鱗茎類、アブラナ科野菜*、 ウリ科果菜、その他果菜)	0.05	食用キノコ、トマトを除く

*「アブラナ科野菜」のうち、葉菜で結球しないものについては「葉菜」に含まれる。

当社では、食品中のカドミウム分析を行っております。お気軽にお問い合わせ下さい。

資料 2006年5月1日付 厚生労働省報道発表資料

環境分析箇所 岡田伸美